

令和3年度当初予算編成 「新型コロナウイルス感染症への対応」と 「上質な生活都市」の実現に向けて

令和3年度当初予算については、「新型コロナウイルス感染症への対応」を最優先の課題と位置づけ重点的に予算を配分するとともに、「上質な生活都市」の実現に向けて、「熊本地震からの復旧・復興」と「まちづくりの重点的取り組み」を着実に進めてまいります。

当初予算の比較

(単位:億円)

区分	令和3年度	令和2年度	比較	伸び率
一般会計	3,750	3,651	99	2.7%
特別会計	2,086	2,049	37	1.8%
企業会計	805	812	▲7	▲0.9%
総計	6,641	6,512	129	2.0%

※四捨五入の関係で足上げた数値の合計や差引きの数値が一致しない場合があります。

一般会計の概要

- 令和3年度一般会計当初予算規模は、3,750億円で、前年度比99億円の増(伸び率+2.7%)となりました。
- ※一般会計当初予算は震災関連分を除くと過去最大規模
- コロナ対策を最優先の課題とし、重点的に予算を配分。

令和3年度当初予算の主な取り組み ※令和2年度2月補正予算計上分を含む。

1. 新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 感染拡大を防止する

迅速なワクチン接種体制の整備

- ・新型コロナウイルスワクチン接種経費
..... 2,090,000千円
市民が迅速かつ安心してワクチン接種できるよう、県や関係機関と連携し体制を整備

検査体制等の充実

- ・新型コロナウイルス感染症対策経費
..... 750,000千円
民間検査機関等においてPCR検査を実施するほか、保健所による陽性者の搬送や患者への支援を行う

感染拡大の防止

- ・公共施設等の感染防止対策経費
..... 353,739千円
指定避難所、福祉施設および学校教育施設等で、感染防止のために必要な資機材等を追加購入

(2) 市民生活を支える

コロナ禍を踏まえた生活支援

- ・住宅支援給付事業
..... 91,000千円
コロナ禍により住まいの確保が困難な方に住居確保給付金を給付

相談体制の充実

- ・生活困窮者自立支援事業
..... 10,500千円
コロナ禍による支援対象者の増加を踏まえ、生活自立支援センターの運営体制を強化

正確な情報発信

- ・感染症関連情報啓発経費
..... 20,000千円
新しい生活様式への対応を促すため市民生活への影響等に関する啓発を実施

(3) 地域経済を支える

中小企業等への支援

- ・新型コロナウイルス対応融資利子補給事業
..... 1,410,000千円
中小企業等の資金繰り支援のため、金融機関からの借入れに係る利子補給を実施
- ・新型コロナウイルス感染症に係る総合相談窓口設置事業
..... 23,300千円
事業継続等に取り組む中小企業者等向けの総合相談支援窓口の設置を継続

雇用対策

- ・失業者緊急雇用促進事業
..... 153,000千円
雇用創出のため失業者・内定取消者等を雇用する企業に対して奨励金を交付
- ・男女共同参画型再就職支援事業
..... 2,100千円
コロナ禍の影響を受けた子育て中の女性の再就職を支援

2. 「上質な生活都市」の実現に向けた取り組み

(1) 熊本地震からの復旧・復興

被災者の生活再建に向けたトータルケア

- ・仮設住宅入居者等暮らし再建支援経費
..... 25,366千円
仮設住宅退去後も見守りや健康相談などの支援を実施
- ・宅地復旧関連事業
..... 8,127,000千円
令和3年度中に全ての液状化対策工事に着手(令和4年度中の施工完了を目指す)

防災・減災のまちづくり

- ・防災拠点施設の耐震化
..... 114,100千円
防災拠点施設に必要な耐震性能を満たすため、耐震化に向けた設計、工事等を実施(南区役所、北区役所、西消防署)

熊本地震の記録と記憶の伝承

- ・復興支援に対する謝意の全国への発信
..... 45,000千円
発災から5年を迎え、復興支援に対する感謝を全国へ発信
- ・熊本城災害復旧経費
..... 1,467,000千円

デジタル化の推進

- ・窓口や市有施設におけるキャッシュレス決済の推進
..... 26,321千円
市役所駐車場や熊本城駐車場などにもキャッシュレス決済を追加導入
- ・マイナンバー制度の推進
..... 1,098,000千円
新たに東区サテライトセンターを整備し、マイナンバーカードの交付体制を強化するなど、普及促進への取り組み

(2) まちづくりの重点的取り組み

安心して暮らせるまちづくり

- ・教育の情報化推進経費
..... 1,868,600千円
全国に先駆けて整備した全小中学生および市立高校生への1人1台端末を最大限に活用した授業の充実など、教育ICTをさらに推進
- ・児童育成クラブ管理運営経費
..... 1,106,500千円
開設時間を1時間延長し、高学年受入れ可能施設を拡充

ずっと住みたいまちづくり

- ・景観形成推進経費
..... 10,000千円
地域における景観づくりの手法を提案し、景観誘導をさらに推進するため、屋外広告物のガイドラインの策定や、景観計画の改定に向けた基礎調査を実施
- ・就職氷河期世代支援事業
..... 26,120千円
不安定な就労状態にある就職氷河期世代に対する就労支援
- ・地方創生移住支援事業
..... 8,000千円
- ・移住促進雇用対策事業
..... 12,600千円
WebサイトやSNSを活用したプロモーションを実施するほか、コロナ禍を踏まえ、オンラインでの移住相談会の開催等、充実した移住支援を展開

訪れてみたいまちづくり

- ・アジア・太平洋水サミット開催経費
..... 216,000千円
本市の地下水保全の取り組みや熊本地震からの復興を、世界へ発信
- ・全国都市緑化フェアの開催に向けた取り組み
..... 1,243,400千円
令和4年春の開催に向けた準備や、機運醸成へ市民緑化運動を実施